

2024年7月14日（第1.1版）

臨床研究に関する情報

北海道大学病院と手稲溪仁会病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和5年3月27日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] 機械学習による蛍光眼底画像からの網膜静脈分枝閉塞症の視力予後の推量

[研究代表機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長 渥美 達也

[研究代表者名・所属] 齋藤 理幸・北海道大学病院 眼科

[共同研究機関名・研究責任者名・機関の長の氏名]

手稲溪仁会病院 医療技術部 視能訓練室 遠藤 弘毅・古田 康

[研究の目的]

人工知能を用いて、蛍光眼底造影画像から網膜静脈分枝閉塞症の視力を予測できるかを検討すること

[研究の方法]

○対象となる患者さん

網膜静脈分枝閉塞症の患者さんで、2013年12月1日から2024年5月31日までの間に北海道大学病院または手稲溪仁会病院で網膜静脈分枝閉塞症の治療を受けた方。2025年8月31日までのカルテ情報を利用します。

○利用する情報

診断名、年齢、性別、合併症、病歴、初回診断日、眼底検査所見（視力、眼圧、眼底検査、蛍光眼底検査）

○送付方法

この研究は、上記の網膜静脈分枝閉塞症患者さんの治療を行っている医療機関で実施します。手稲溪仁会病院の上記カルテ情報は、網膜静脈分枝閉塞症における画像データ等の解析のために北海道大学病院へ郵送・宅配で送付され、北海道大学病院のカルテ情報と共に解析が行われます。

[研究実施期間]

実施許可日(情報の利用・提供開始：2024年8月下頃)～2026年5月1日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

2024年7月14日（第1.1版）

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[北海道大学病院（研究代表機関）の連絡先・相談窓口]

北海道大学病眼科 担当医師 齋藤 理幸
住所：〒060-8648 札幌市北区北14条西5丁目
電話：011-716-1161 FAX 011-706-5948

[手稲溪仁会病院（共同研究機関）の連絡先・相談窓口]

手稲溪仁会病院医療技術部 担当医師 遠藤 弘毅
住所：〒006-8555 札幌市手稲区前田1条12丁目1-40
電話：011-681-8111（代表） FAX：011-685-2998